

小施策評価シート (平成27年度実績評価)

施策コード	22	施策名	商業・サービス業の振興	
小施策コード	22-1	小施策名	魅力ある商店街の形成支援	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	後藤 敏弘		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

Step 1 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 景気回復の兆しが見られるものの、「まちの顔」である中心市街地をはじめ、各商店街、市全体の卸・小売の年間販売額や従業員数などが減少傾向にあることから、大型店や量販店にはないサービスや地域の特性を生かした魅力ある商店街や個店づくりにより、商店街の集客力を維持向上させる必要がある。 また、岩手医科大学附属病院の移転後の跡地活用について、市民や商工関係者の関心が高まっていることから、中心市街地の活性化を検討する必要があります。 高齢化の進展と相まって、地域によっては、徒歩で行くことができる距離に商店がない、あるいは、買い物に行くための交通手段がないなど、買い物の利便性が低下している地域があることから、地域や事業者と連携して対応する必要がある。
取組の方向性	中心市街地の活性化に向けて、関係機関と連携しながら、来街者の増加などを図る取組を推進するほか、市域全体では郊外型大型店の進出や多様化する消費者ニーズに対応した、魅力にあふれた活気のある商店街づくりを推進する。
対象 <small>(誰(何)を対象として行うのか)</small>	商店街等の団体
意図 <small>(対象をどのようにしたいのか)</small>	商店街のにぎわいが創出される

Step 2 成果指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていることを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績 (現状値)	27年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
A 中心市街地の小売年間販売額(↑)	百万円	68,272	64,247	71,700	75,100
B 中心市街地の歩行者・自転車通行量(↑)	人	48,332	46,210	52,300	53,000
C ()					

Step 3 市民ニーズの把握

まちづくり評価アンケート (H27年度) によると、商店街で「買い物をほとんどしない」「買い物をしない」と回答した人の割合が過半数を超えており、一方で商店街での買い物のしやすさに「とても満足」「やや満足」と回答した人の割合が約3割となっていることから、商店街の魅力を向上させるため、より一層の施策の推進が求められている。

Step 4 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	関連する事業や団体に対し負担金、補助金を交付することにより、商店街及び商工業の発展を支援している。	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO		
	企業・ その他	盛岡商工会議所において商工業の振興に資する事業を推進する。盛岡市商店街連合会において商店街活性化施策を推進する。	50

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持 (現在の市の役割の比重を維持する)
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する
(理由)

各種事業を推進していくにあたって、市の補助金・負担金は重要な財源となっていることから、現状維持が必要であると考えられるが、各事業の内容については十分な精査を行ったうえで交付額を算定していく必要がある。

Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

肴町商店街のエリアにおいて、歩行者・自転車通行量が昨年に比べ増加した。

(2) 成果をあげた要因

ポータルサイトと連携した新地域カードシステム事業の加盟店が肴町商店街エリアに集中していたことにより、肴町商店街のエリアを訪れる人が増加したものと考えられる。

(3) さらに成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

新地域カードシステム事業の更なる普及拡大。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

肴町商店街のエリア以外の中心市街地の歩行者・自転車通行量が伸び悩んでいる。

(2) 現状の問題点が生じている原因

商店街や個店の魅力が十分に発信できていない。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

商店街や個店の魅力発信を強化する。

3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 新地域カードシステムを、他の商店街エリアにも拡大することで、中心市街地の各商店街等の回遊性を高める。
- ・ 商店街等が実施するイベントの宣伝等を、ポータルサイトの活用や各イベント間での相互PRを行うことで強化し、商店街等への来街促進の取り組みを支援する。

Step 6 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1で記載した事業についてその理由

3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）